

1. 概要

箕面市では平成 27 年 4 月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間 140 時間（週 4 時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間 30 時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に 1 時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9 年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2. 学校関係者からの意見

- ・楽しく英語を話せる授業をもっと増やすために、英語しか使えない時間を設定する。ゲーム感覚で、先生も生徒も英語で考えたり、英語を話したりする機会を増やす。
- ・アニメのセリフを英語で話すなど、生徒が楽しめて、かつ実用的な英会話にたくさん触れる。
- ・英語での生徒同士のコミュニケーション、ALT の先生とのコミュニケーションの機会や場をもっと増やしてほしい。
- ・ALT の先生と話をして、英語に対して親しみを持てるようになった。
- ・英語コミュニケーション科の授業を通して、文法にとらわれすぎず、自分から英語でコミュニケーションをとれるようになってほしい。
- ・書く・聞く活動だけではなく、話す・発表するなどの活動を通して、主体性・積極性を伸ばしてほしい。
- ・姉妹都市のハット市（ニュージーランド）とオンラインで、英語で交流してはどうか。

3. 今後に向けて

学校生活での ALT との会話の中で、英語を使う場面を増やす。
英語科の学習内容がより深まるよう、英語コミュニケーション科と連携を図る。
自ら考え、表現する活動を通して、自己表現の機会を多くする。
また、英語への興味関心をより深めることによって、学習内容の定着につなげていく。